

戦わぬこと

ootsuru

前書きにかえて

大津留公彦のブログ2と Twitter&Facebook(ハッシュタグ #NO集团的自衛権) に寄せられた「集团的自衛権を阻止する 575/57577」は 505 に達しましたので予定の通りここに無料電子出版いたします。

当初 100 目標で始めたがあつという間に達成してしまい切りのいい数字として無理とは思ったが 500 を目標とするとブログに書いてしまった。

諸団体と一緒にいった特定秘密保護法反対の 575/57577 募集と違って全く一人の責任で始めたので難しいかも思っていたが殆どは直接存じ上げない皆さんの怒りがここにも反映していたのだと思う。又、自分がその半分位を作れた事にも喜びがある。

啄木は徹夜を挟んだ 2 日で後世に残る歌 300 首を作った。それを創作意欲の高まる例として語って来たが一ヶ月でそれ位はできるということが実証出来た。

これらの作品は文学作品としては後世に残らないかもしれないが、起こる出来事それぞれについての Twitter や Facebook のシェア記事に付ける一言呟きとして短歌を付けて来た事によって#NO 集团的自衛権で検索できるので事柄の記録としての意味はあるだろう。

私の頭は完全に五七のリズムになっていた。「集团的自衛権」の記事や動画を見るたびに短歌が溢れ出て来た。当初は短歌も俳句も作ろうと思ったのだが出て来るのは短歌ばかり。自分がこんなに短歌的人間とは思わなかった。

これは短歌や俳句や川柳としての作品の質を問うコンクールではありません。作品は内容も表記も種々雑多ですが作品には一切手を入れていません。歌人や俳人からすればこれが短歌かこれが俳句かこれが川柳かとお思いの方も居るかもしれません。

お答えしましょう。

これが短歌であり俳句であり川柳です。

花鳥風月ばかりを詠む月並み短歌や月並み俳句や身辺雑記ばかりの作品よりもはるかに現在を抉っており現在に詩歌がある意味があると思います。

では「意味のある」作品をどうぞ、、、

- 1、のぶてるも鈴木も切って憲法切る 公彦
- 2、九条の窮状救う五七五 公彦
- 3、自公他みんな同じでみんな悪い 公彦
- 4、「戦争」をするとどうして言わぬのか 公彦
- 5、ミリオタが政治をしたら戦争へ 公彦
- 6、広島も長崎も知らぬお坊ちゃん 公彦 併
- 7、おじいちゃんに憲法なくせと習ったか 公彦
- 8、安倍晋三 道徳語る 資格なし 次から次へ 不道徳なり 俊ちゃん
- 9、仕方なく やるふりをして 本心は 岸と財界 見栄と跳梁 読み人知らず
- 10、道徳を説くなら堂々発議せよ 公彦
- 11、負けまいぞ 九条日本 ここにあり 読み人知らず
- 22、胸張って 誇りを持って 貫いた 九条捨てたら 地獄待つのみ 読み人知らず
- 23、憲法に死ねというのか shine!とは女性が輝く前に戦争 公彦
- 24、今夕も信濃町にスピーチをする君の姿を思い浮かべり 公彦
- 25、信濃町の駅頭スピーチする君を twicas が追う夏至の日の夕 公彦
- 26、「集団的自衛権」という他自衛権この日本に何故必要か 公彦
- 27、オタク族政治家になり戦争へ一路進めり当然のごと 公彦
- 28、「戦争」と何故言わないか「集団的自衛権」などあり得ないのに 公彦
- 29、公明党「平和の党」というならばなぜこの企みを看破出来ぬか 公彦
- 30、「九条があるから命が助かった」海外脱出者の一様の言 公彦
- 31、武器を取り 侍ジャパン どこへゆく
- 32、自公みん あうんの呼吸で 自衛権
- 33、気をつK 読売産K NHK
- 42、一度だけ 集団自衛権 認めれば あとは解釈 歯止めはきかぬ
- 43、戦(いくさ)こそわが宿願と参拝すひきつる頬の皺(しわ)ぞ醜(みにく)し
- 44、安倍石破 麻生石原 菅橋本 日本の恥辱 極まれり
- 45、妄言は わが党歴代の 美徳なり 愚民喝采 良民沈黙 あべのあそんすがまる
- 46、災害に 不安がつるの 国民に 死ねよ殺せよ 迫る内閣 読み人知らず
- 47、戦争にとられるならば子は産まぬ 読み人知らず
- 48、七十年 守り続けた 憲法を 犯す内閣 裁かれるべし 読み人知らず
- 49、公を縛るロープで私を縛るマフィアやぼんぼんの飽くなき野望 公彦
- 50、権力が乱用されない為の法憲法を習わぬ有象と無象 公彦
- 51、交戦権を認めることにならないか他人の喧嘩に加わる事は 公彦
- 52、ベトナムはフランスが起こした戦争にアメリカが入ったこれが「集団的自衛権」公彦

- 53、軍事費の半分はアメリカが使うという「戦争しない国」とは合わぬ 公彦
- 54、ジャイアンに従うスネ夫君なるかそれはダメとは決して言わぬ 公彦
- 55、軍用機で逃げる程危険な事はない家族でさえも標的となる 公彦
- 56、民間機で私らも逃げた イラクからヨルダン ロンドン励ましを受け 公彦
- 57、アメリカの軍艦に乗る母子の漫画あり得ない事があるように嘘 公彦
- 58、民間機が爆撃された事はない軍用機が墜とされた事はあっても 公彦
- 59、NGO が軍隊で救われると思わぬがぼんぼん総理はそう思うらし 公彦
- 60、サラリーマン兵士は家族の元に戻るイラクとアフガン爆撃のあと 公彦
- 61、「ブレデター」操縦するのはアメリカ基地爆弾落として勤務は終わる 公彦
- 62、軍事費はロシアに次いで伸びて六位それと憲法が関わっている 公彦
- 63、軍需企業の利権のための「集団的自衛権」そういう構図が君には見えぬか 公彦
- 64、「集団的自衛権」は国民を守らない若者の血が流れるばかり 公彦

6・25

- 65、友と行き 戦う憲法(ほう)の 無い政府 ハマナス岬
- 66、死者たちの光灯せし常夜灯かく吹き消すは大罪ならむ 河津聖恵@kiyoekawazu
- 67、弁護士の色七パンツ狂う夏 ルーシュン 5・3@luxun1000
- 68、それだって 決めるのはオレ 自衛権 岩崎雅樹@masakiwasaki
- 69、「平和の党」憲法破りの先兵へ 公彦
- 70、大雨につづいて官邸記者会見 ASato
- 71、憲法を正しく理解がまず先だ ASato
- 72、連日の雷雨に危うし第九条 ASato
- 73、人殺しなぜ集団に許されよう ASato
- 74、武力行使認めてしまえばどこでもドア ASato
- 75、自衛権おとなの火遊び手をやかす ASato
- 76、言うこととアベコベ方向まっしぐら 平和という言葉が泣く ASato
- 77、それ打てやアベが手をすり足をする ASato
- 78、自衛権容認セールス騙されず ASato
- 79、国民の意識向上第九条 ASato
- 80、九条の備えあれば憂いなし ASato
- 81、九条の備えあれば戦(いくさ)なし
次世代に必ず渡そう第九条 ASato
- 82、集団で戦争すると言っている 宮森よし子

6・26

- 83、死ナンカイ家畜軍団カネのムダ軍事浪費は民の敵なり
@A_Cross_A_Blue ナヲキ@FFJ・RT
- 84、ワレ死ネヤさっさと自決日本軍タダのお骨はパパママ拾う
@A_Cross_A_Blue ナヲキ@FFJ・RT
- 85、自衛いう 殺しライセンス 与えません kudou
- 86、九条の空気のようなありがたみ あさと
- 87、失って初めてわかる九条の日々のくらしのありがたさを（失ってからでは遅い）あさと
- 88、この国が見離されませんように幸運の女神に祈る今日この頃 あさと
- 89、若者に血を流すことばかり考えず知恵を絞ろう政治家ならば 公彦
- 90、名著ある地位を占めたい世界には非武装こそその役割がある 公彦
- 91、この半年で52万部減らしたという読書はまだ戦争旗降る公彦
- 92、公明は七対三で賛成と頭髪で無く「集団的自衛権」に 公彦
- 93、戦争をしないからするに変わるのに君の良心は疼かないのか 公彦
- 94、八割が議論不十分という世論踏み潰しても君は行くのか 公彦
- 95、将来に禍根を残す決定を公明党はするなさせるな 公彦
- 96、「明白な危険」と「おそれ」を直したとて戦争決定になんら変わらぬ 公彦
- 97、ブレーキ役実はアクセル役だった 公彦
- 98、二十四の瞳の島の先生が今生きてたら何と思わん 森岡孝二
- 99、数知れぬ人の命で購える憲法を捨て戦するのか 森岡孝二
- 100、その人は四十過ぎて兵となり病除隊でわが父となる 森岡孝二
- 101、手を出せば倍返しされると蛭子さん喝破するなり雨の日の夜 公彦
- 102、座り込む市民ゴボウ抜き警察官 公明党の本部そばにて 公彦
- 103、官邸前に六月三十日に集まろう 戦争する国を残さない為 公彦
- 104、公明党は市民をゴボウ抜きするのか戸田城聖は天国でどうみる 公彦
- 105、独裁に気付いた時はもう遅いとならないように今反対を 公彦
- 106、戦前の政府と軍部の支持高く国民は戦争を支持したというが 公彦
- 107、集団的自衛権に女性自衛官は壊される一万五千の心と体 公彦
- 108、沖縄の基地が真っ先に狙われる「集団自衛」という「戦争」に 公彦
- 109、「限定容認」「必要最小限度」などあらぬ憲法は認めぬ集団的自衛権を 公彦
- 110、究極の「岩盤規制」か憲法を新自由主義は戦争主義に 公彦
- 111、憲法の岩盤崩すスリカエに命の重み史を視ながら 小幡勉
- 112、戦争の当事者なるは我が身なり行使容認是非やいかに あさと
- 113、老将の武力行使止めし往時の証言現在（いま）や我らが止めし時なり あさと
- 114、十年前あげられし数々の不戦の声現在（いま）読みてこそ強き励まみなり 公彦

- 115、たった今届きし新生児の写真赤き手足ぞ平和へのバネとみゆ あさと
- 116、六十年守り続けた憲法を乱暴な作文で壊されてたまるか 公彦
- 117、戦闘員の移民をアジアから入れてアジアと闘うと学生が言う？ 公彦
- 118、山口さんあなたの党は潰れます学会員の集団離党に 公彦

6・27

- 119、W杯終われば待ってる集団的自衛権そういう名前の戦闘国家 公彦
- 120、俺はもう引っ張られないかと91歳のシベリア行きを免れた人 読み人知らず
- 121、あの手この手で軍国化身内はけっして行かないと(戦場へ) あさと
- 122、あの手この手で軍拡化こんなに儲かることはない(戦争屋) あさと
- 123、自衛隊危険な派遣の積み重ね危険が迫る軍隊への道 あさと
- 124、墓場まで持て行けといわれしこの体験今訴える秘密法施行前に(元自衛官・クウェート派遣隊員・池田さん) あさと
- 125、アメリカと肩を並べる夢を見て 国民無視の 安倍晋三 由季子
- 126、慰霊の日平和を誓う口先にかりゆし纏いて言葉の意味知らずか あさと
- 127、慰霊の日青き草に寝転びて空を仰ぐ幼子のこの平和の広がらんことを あさと
- 128、艦隊の船影最後に見しという村人総出で慰霊の一日 (鹿児島県・黒島) あさと
- 129、戦争放棄条文にあるときく武力行使に歯止めなく戦死者絶えずイタリアの 同じ轍をなぜ踏まんとす あさと
- 130、軍拡の果ては海外進出ときくその増強を知らぬ間にいまや現実となりしか あさと
- 131、ここ過ぎれば戻れずときくターニングポイントそれと気づかずや軍拡の果て あさと
- 132、字の意味に平和の意志込め子になずけむ (新生児) あさと

6・28

- 133、社会にはありがちときく偏見差別ヘイトスピーチけっして許さずその先に過去に起こりしジェノサイドありという 赤塚のオカメ
- 134、イチャモンと思いうちにこれ正言(もっともらしい言説の方がウソだった!) 赤塚のオカメ
- 135、知らぬ間に陸も海も濁りおりいかに取り戻すべきなるや緑の地球 赤塚のオカメ
- 136、戦争は環境破壊の一番手放棄の道がまず第一ぞや 赤塚のオカメ
- 137、列島をぐるりと原発取り巻いていかに危険か戦争国家への道 赤塚のオカメ
- 138、海外から労働者頭脳者を導入するという某国に似たり戦争国家への道 赤塚のオカメ
- 139、ローカル労働者とグローバル頭脳者両極に分けるといふ誰のためなるや平和は遠ざかる 赤塚のオカメ

- 140、一人一人が主体の社会目指すはずどこで間違ったか人が資源の国 赤塚のオカメ
- 141、人材と言われしうちに資材とされ 赤塚のオカメ
- 142、グローバルに考えローカルに暮らす一人一人が主体の社会 赤塚のオカメ
- 143、日々の暮らしに糧はいるが糧をえるため自分を捨てるはもつてのほか 赤塚のオカメ
- 144、糧生みだすものを活かし育てる人の和を（平和への道） 赤塚のオカメ

6・29

- 145、いつの間に開通させたか圏央道高尾の天狗が泣いている 赤塚のオカメ
- 146、次々と登録遺産で観光立国いつまで続くか庶民の懐 赤塚のオカメ
- 147、純然たる失敗経験富国強兵ふたたび始めるおかしさよ 赤塚のオカメ
- 148、隠れた歴史遺産庶民の努力で受け継がれ 赤塚のオカメ
- 149、幾千万屍築きて勝ち得たる 日本国憲法九条輝け そこつ
- 150、「我が息子出さぬが自衛隊は行け」 イラク帰りの隊員病める そこつ
- 151、愚かなり浅薄なりと嘲るや 戦車の前に立ちし若人 そこつ
- 152、「来るものを 阻む壁と生 問うなかで 錯乱の要素 また持ち混まれ」 <す>と"希望"

6・30

- 153、衆院の重鎮ついに動き出す（村上誠一郎さん） 赤塚のオカメ
- 154、知ることが偏見差別をなくさせる中国皇帝融和の智恵（四庫全書・故宫博物院） 赤塚のオカメ
- 155、北朝鮮ミサイル発射阿吽の呼吸閣（議）決（定）前に聞く（いつもタイミングよすぎ？） 赤塚のオカメ
- 156、忘却は金ならずキケンと知れ さっちゃん
- 157、あなおそろし人材派遣は軍事にも（民間軍事会社） さっちゃん
- 158、集団的自衛のと屁理屈で戦争されてはたまりませんよ 森岡孝二
- 159、ニッポンを貧乏人の国にして食っていきたくや軍隊に入れ 森岡孝二
- 160、安倍安保（アホ）で戦争する国突っ走るアホノミクスの不安倍増 森岡孝二
- 161、ひょって明日は負けるかも知れぬだがこの運動はきっと勝利する 公彦
- 162、遺書書いて食料持たず武器を持つレインジャー部隊の嘆き君知るや 公彦
- 163、「君死にたまふことなかれ」を読んで焼身自殺をしたというこんな ニュースがあつて日本 公彦
- 164、たまらないこんなニュースはたまらない「集団的自衛権」戦前に殺人 公彦
- 165、アベシンゾータイジン！タイジン！総辞職 安倍晋三は今すぐ辞めろ！ 公彦
- 166、輸出しよう憲法九条子等の為解釈改憲絶対反対！ 公彦
- 167、子どもの未来に戦争要らないぞ戦争放棄は日本の責任 公彦

- 168、 行きたくない戦争なんかやりたくない絶対平和は日本の責任 公彦
169、 国会は夜になっても冷めやらず殺気の中にコールは続く 公彦
170、 選番の勤務に首相官邸前行けず twicas 画面に歌句を載せる 公彦

7・1

- 171、 月付けも日付け変わる時迄もシュプレヒコールは止むことは無し
172、 三万人を越える人が集まりて安倍晋三の退陣を言う
173、 国会も裁判所も国民も閣議決定無視すればいい
174、 この二党を厳しく罰する日がきっと来るその日迄この記事をしまっておこう 公彦
175、 三万五千人のコールを聞いて小心者は内心穏やかならずであろう 公彦
176、 若者の甲高い声響き渡る首相官邸の記者会見の間 公彦
177、 安倍首相「何も変わらない」という記者会見ならば閣議決定今すぐ撤回 公彦
178、 閣議決定勝手に決めるな 撤回しろ 憲法壊すなセンサーハンタイ! 公彦
179、 「安倍を倒せ!ファシスト消えろ!さっさと消えろ!」官邸前に旗は振られる 公彦
180、 「安倍退陣!安倍の作る未来はいらない!」横断幕が通って行った 公彦
181、 赤坂の我がビルがあり「集団的自衛権反対!」の拳の先に 公彦
182、 上弦の月がビルの間にありカイケンハンタイ!アベハヤメロ! 公彦
183、 「ファシスト捕まれ安倍はやめろ」ドラムの音と官邸を刺す 公彦
184、 八秒子のドラムのリズムが体揺らす憲法壊すな安倍はやめろ 公彦
185、 子どもが泣く絵のプラカード裏側には「集団的自衛権容認反対!!」 公彦
186、 独裁やめろ戦争反対 改憲反対憲法変えるな首相を変えろ 公彦
187、 「安倍はやめろ!ファシズム許すな!」もう二時間も叫び続ける 公彦
188、 自衛隊六十年の日にすることか集団的自衛権容認決議 公彦
189、 「NO PASARAN!」外人夫婦の手作りのプラカード「ABE IS OVER」もあり 公彦
190、 安倍晋三のマスクくるくると回されて官邸前は若者の解放区 公彦
191、 ドラム隊とシュプレヒコール隊に挟まれて白髪の男は叫び続ける 公彦
192、 知る顔も幾人か居て挨拶する Facebook の顔知るのみも 公彦
193、 「安倍はやめろ!」と唱和する甲高い声にかすれたダミ声 公彦
194、 「THE WAR AGAINST WAR」のプラカードこの若者に怖い物はない 公彦
195、 そうなんだ「武力で平和は創れない」「創る」の文字にそのひとが居る 公彦
196、 外人が多く見える官邸前ドラム隊の後ろに居ます 公彦
197、 安倍が憎む「九条」こそが新しい新しい人たちがここに集まる 公彦
198、 霞が関で仕事をしている人たちはこの音の中で仕事をするのか
199、 「安倍はやめろ!奴らを通すな!」少しづつシュプレヒコールも変わってゆくか 公彦
200、 「keep! constitution」最高法規を壊す安倍総理はもはや犯罪人なり 公彦

- 201、九時半になっても人は帰らないドラムは続くコールは続く 公彦
- 202、ファシズムとはこうして生まれるか七月一日首相官邸前 公彦
- 203、十四年安保とでも言うべきか二度の安保を知らぬ世代の 公彦
- 204、四時間を立ち通しなり口も手も少しも休む時は無く 公彦
- 205、四時間のロックコンサートのように「集団的自衛権」許さぬ官邸前 公彦
- 206、中指を官邸前に突き立てて若者は総理にやめろというのか 公彦
- 207、我が子らここには居ないが若者の中に過ごしたこの初夏の夜 公彦
- 208、この夜はきっとずっと忘れないファシズム通すな我らは許さぬ 公彦
- 209、六十年安保で家を包囲され今は官邸を包囲されている人 公彦
- 210、これほどに若者を意識したことはない七月一日夜を記憶す 公彦
- 211、家族に類が及ばにやせんか？そんな時代になっちゃうよ（官邸前の若者に学べ） さっちゃん
- 212、閣議決定阻止できず官邸内と思いきや衆院会館地下2階 さっちゃん
- 213、地下道でも出来てやせんか永田町地上の人々避けるため（チャウチェスクをおもい出す） さっちゃん
- 214、どこまでもありえない想定で説明しまだ通じる人頼み（首相会見一もう破綻してるのに） さっちゃん
- 215、女性アイヒマン突然浮かんだこの言葉（〇〇担当大臣・〇〇会長・・・） さっちゃん
- 216、女性兵士征くのは彼氏だけじゃない（そういう時代に？） さっちゃん
- 217、米国と肩を並べてそれ本気？ さっちゃん
- 218、抑止力軍備拡大きりがなく世界平和の大敵だ（積極的武力主義） さっちゃん
- 219、焼身自殺のニュースにかつての南ベトナムを思い出す（毎日お坊さんの抗議の焼身自殺が続きました） さっちゃん
- 220、ここは通っちゃいけません、官邸行く道通せんぼう（大回りさせられる） さっちゃん
- 221、退陣へ何かいい知恵ありやせんか さっちゃん
- 222、国民の声に背を向け安倍暴走 にんべん
- 223、国民にアッカンペーと安倍暴走 にんべん
- 224、耳塞ぎ舌は十五枚安倍暴走 にんべん
- 225、黒を白解釈ごまかし安倍暴走 にんべん
- 226、二人羽織操りつられ安倍暴走 にんべん

7・2

- 227、武器輸出原発輸出する国は私の愛した国にはあらず 小木曾茂子
- 228、繁栄は平和のためにあったのに繁栄のため戦争するとは 小木曾茂子
- 229、憲法に背く閣議決定は無効です無効選挙の偽首相にして 公彦

- 230、自衛隊に入る人はいないだろう他人の国を守る軍隊に 公彦
231、たまたまに7月1日と思ったが自衛隊の生まれた日なのか 公彦
232、武力での脅しは憲法違反です（抑止力）あきさん
233、血を流せて誰の血だい（強制死も強制殺人もゴメンだ）あきさん
234、ときは今抗議の仲間に加わらん（閣議決定破棄へ向けて）さっちゃん
235、「閣議決定ありえな〜い」いっそう高めよ抗議の声 さっちゃん
政治家の信念なるものキケン千万 236、（小選挙区制導入・郵政民営化・消費税増税・集团的自衛権容認・・・） さっちゃん
237、「つるせこファミリー」に「おぼっちゃまくん」どこかの世界のことだった（政界？） さっちゃん
238、まっぴらゴメンだ51番目の州だれかのボチもやっぱりイヤ（元〇〇国・兵隊州？） さっちゃん

7・3

- 239、人間はそこ迄金儲けに走れるか若者を戦地で殺し合わせて 公彦
240、我々の抗議の声が聞こえている記者会見の録画を見ている 公彦
241、戦力ではなかったはずの自衛隊他衛軍となりて闘う 公彦
245、その息子が自衛隊にいると言う小沢一郎安倍と闘え 公彦
246、見も知らぬ国に行って殺し殺されるそんな仕事に着く者はない 公彦
247、イギリスも、スペインも、ドイツも、フランスも、市民の多くがテロで死にたり 公彦
248、街中でテロが起きれば人は死ぬどんな軍隊もテロは防げない 公彦
249、「戦場は命のやり取りをする場所なんです」国会よ自衛官の訴えを聞け 公彦
250、自衛隊で、「兵は凶器」と習ったと自衛隊員警鐘 鳴らす 公彦
251、小澤さん、我らの子も皆自衛隊員、アベの子殺し座視に忍びず 萩谷良
252、こんな政治家を選んだのはあなた達だ 公彦
253、九条守る四万人のデモが堂々で行われる国九条作る 公彦
254、アーミテージは改憲でいいと言ったとかこの拙速はそのせいなるか 公彦
255、鐘は動く何度も何度も揺らすなら村上誠一郎一人筋あり 公彦
256、言うならば集団で弱いものいじめをする権利綺麗な言葉に騙されるな子よ 公彦
257、十八になった若者に一斉にダイレクトメールの勧誘とは何 公彦
258、男女問わず宛名が手書の勧誘は何を意味する七月一日 公彦
259、自民党にもまともな人はいるだろうこの人のように語って欲しい 公彦
260、若者は考えていると考えていた七月一日の官邸前に 公彦
261、その父もその祖母もこうはしなかった戦争という悲惨を知れば 公彦

- 262、NHKは考える若者を特集した先週なれば拍手をしたが 公彦
263、この国と子や孫の行方思う時ある一点に集約して行く 公彦
264、見るものと聞くもの全て歌になり啄木のある七月思う 公彦
265、その顔が凍り付く日がきつと来るその日を着々と準備する夏 公彦
266、目を凝らせ線から来るなどいわれてもただただ水があるばかり南の国の物語（アラアラ不思議、辺野古の海）あきさん
267、ジュゴンの親子も住処（すみか）を追われ海の神は怒っている あきさん
268、コマツ長官を天国（or 地獄）まで追ってインタビューしたい（感想聞きたいなあ〜）あきさん
269、もしもしアベさんアベさんよ日本のうちで貴方ほど大勢を不幸にする人はないどうしてそれに気づかないの あきさん
270、偽首相が一億の命握りたり（このままにはさせられん）あきさん
271、あの手この手で閣議決定いかさま政治ゆるされん あきさん
271b、もしもし公明党さん公明党さんよなんで容認に加わったのちゃんと分かる説明して党史に残る汚点ですよ あきさん
272、辺野古沖海の中でも通せんぼう（禁止区域広がる）あきさん
273、小松長官あつちからみれば大功労者こつちからみれば真反対（なぜ引き受けたか個人的な気持ちをききたかった）あきさん
274、首相の力は一億二千万私の力は一人分？（この格差はすごい！）あきさん
275、つづまりは戦争するのকাশないのかどちらにつくのか問われている梅雨 公彦
276、「梅雨空に「九条守れ」の女性デモ」この句が問題となる公民館とは 公彦
277、こうなれば危ない核を持ちたいな集団安保の自滅の核を 森岡孝二
278、核ほしい私がボタンを押したいな次の一步は破滅の核だ 森岡孝二
279、なだれを打って堤防が壊れないように堤を造ろう裡にも外にも 公彦
280、今だけや自分たちだけのことでなく犠牲や苦しみ学ぶ絵本に
290、賛成した地方紙三紙を忘れない反対四十紙も忘れないけれど 公彦
291、北国新聞は石川県の半分が読むというこの新聞を批判するべし 公彦

7・5

- 292、(あつと驚くタメゴ〜ロウ) びっくりしゃっくり小泉さんあつという間に有力家族 あきさん
293、びっくりしゃっくり竹中さんあつという間にお大尽(某社会長、大臣もしたんだ) それに合わせて(合わせるように)日本はあつという間に軍事国 あきさん
294、親孝行のシンゾーさん皆のこともかんがえて(母上誕生日) あきさん
295、年金基金もトヨタの株も外国ファンドが(かなりを)持っているってすべては株価を

上げるためって（それ本当？）あきさん

296、白（川さん）が去り黒（田さん）が入ったあの日から月日は経ちぬ結果はいかに？（みるのが怖〜い）あきさん

297、戦争の悲惨も知らず貴公子は歴史に残す我が名を呼べり 俄風 @gafuubaiku

298、乖離ある世論調査に呆れるが分かり合えない理由のひとつか 公彦

299、読売、産経、日経は世論調査でなく世論操作マスゴミという言葉に恥じず 公彦

300、めんどくさいヤツラでずっとあり続けよう 闘いはまだまだこれからである 公彦

301、渾沌の中にも次の希望の火灯っているぞ冷めたファシズム 河本玲太郎

302、「民主党など野党の協力」期待され安倍政権の踏み込み続く 公彦

303、支持率が5割を切った言い訳記事「ネガティブ」なのは政府と読売 公彦

304、自転車が良いても自動車はだめでしょう自動車道路のない公園は 公彦

305、ペリーの頃と変わらぬそんな横須賀の価値は（某国にとっては）あさと

306、数々の幸運重なって首都圏の我は今日も過ごせり（原発事故）あさと

307、民主主義は一人一人の自覚の中にあり新聞投書に同感す あさと

308、ユニークな遊びを始めた先見の明、平和運動へ弾みつく SAITO NORIKO

309、五七五拒否すると言ふ公民館どの面下げて公といふ あずさ

310、戦争がコンビニの横で微笑んでいた 大脇友さん

311、糸井重里の三十年前の名ポスター首相官邸に大きく飾ろう 公彦

312、偽医者と同じく偽首相と喝破する升永弁護士潔きなり 公彦

313、防衛と無関係なるを防衛と愚かな首相と愚かな若者 公彦

314、憲法への反逆内閣安倍内閣九十八条九十九条違反 公彦

7・6

315、政治の消費者から主権者へ飛躍を遂げよう君たちと共に 公彦

316、「実存的無関心」乗り越えて行く思想こそ確かな未来を切り拓くもの 公彦

317、勘違いのあべこべさん意気揚々と諸国めぐり（オセアニア歴訪の旅へ出発）あさと

318、報復のたんびに再び火が燃え上がる（パレスチナ）あさと

争いの火種をつくるなこの日本 あさと

319、次世代〇〇？まさかブラックネーミング？無自覚政治家ここにもあり？あさと

320、私達は騙されませんいつまでも

321、倫理・歴史・哲学・文学、人にとって大切なもの（四庫全書）あさと

322、兵隊は個を奪われたロボットか（兵隊という名前で一くくりされる）あさと

323、あのコートもう着られない？ライセンス切り（直営店がふえる・企業が世界一活動しやすい国）あさと

324、「教え子を再び戦場に送らない」六十三年前のスローガン貼る 公彦

- 325、悪党の考えることはいつも同じ全権委任をヒトラーも麻生も 公彦
- 326、防衛省のホームページに違憲とある「集団的自衛権」の解説諾なう 公彦
- 327、軍隊は無理をしてでも敵をつくる元軍人の言われしことば（本当だった）あさと
- 328、何のために国があるのか分からなくなった警察官も同意する7月1日官邸付近 あさと
- 329、何のために憲法があるのか分かってくる今日この頃（憲法を知ろう）あさと
- 330、歌わないもの一万数千のうち6人となるという（O 府）あさと
- 331、ストーカーの気持ちを知ること大事だねだんだん理解が進んでくる（罰だけでは防止にならない：テレビ番組を視て）あさと
- 332、シュガーレスカフェインレスと謎めいて 戦争レスの集団的自衛 あずさ
- 333、老学者怒りに振るへ声上げる あずさ
- 334、死の淵を臨む愚かな自衛権 あずさ
- 335、浅知恵の宰相のみて国滅ぶ
- 336、老学者怒りに振るへ声上げる あずさ
- 337、政権は草葉の陰を費かし
- 338、安倍に倣って「積極的ことなかれ主義」とでも言いたいです あずさ
- 339、熱釜に 我も我もと 軍蛙” あずさ
- 340、嬰兒が幼子になり手を振りぬ 梅雨晴れの下ただ晴れ晴れと@kanpekinomiya そこつ
- 341、丈伸びし少年の夢グローブに 記されており「行くぞ甲子園」そこつ
- 342、戦争というもの知らぬ少年が 今日野球の練習している そこつ

7・8

- 343、自衛隊を米軍の傭兵に差し出すような一政権の一閣議決定 公彦
- 344、本音いうと「憲法ごときで日米関係を壊すな」本音はなかなか言わないけれど 公彦
- 345、中国のせいにして攻め込むは盧溝橋にて行いしこと(7・7 盧溝橋事件 77 周年) 公彦
- 346、「立憲独裁に立憲デモクラシーを！」北岡伸一氏の指導教官 公彦 #NO
- 347、「安倍内閣は東条内閣より危険」自民党千葉県連元幹事長 公彦
- 348、他国民救出すれば「米国民を危険にさらす」と彼の国の謂い 公彦
- 349、出発点 300 人が 1500 人に 7 月 5 日新宿のデモ 公彦
- 350、官邸の周りをかためる 9 条のパスを回してゴールめがけて 小幡勉
- 351、憲法を縦横上下読み解けば戦の火種博物館に 小幡勉
- 352、軍事研究を「学問の自由」とは防衛省何を言う「学問の自由」で戦争協力させられてたまるか (渡辺順三の本歌取り)公彦
- 353、読売の全てを深く拒否しよう新聞もテレビもラジオも夢も 公彦

- 354、弁護士会活躍目立つ大阪の五千人集会雨に打たれても 公彦
355、今あなたが吸った空気を僕が吸う地球の空気は皆が吸ったもの 公彦
356、全教科書に集団的自衛権は違憲とあり黒々と塗るか啄木のごと 公彦
357、飲まないぞアペノミックスジュースなど庶民を絞りに絞ったジュース 公彦
358、マスコミが無視する憲法と原発への小百合と恵子の想いを思う
359、70年はつかの間の平安だったか新たな闘い(武力ではありません)がまた始まる(「平和とは、終わりなき闘いなのです」オルセン・フィグーレス) あさと
360、猫までも興奮状態にさせる石破君トーンと中味が何かを醸すか 公彦
361、二代女優の熱い思いを広げようマスコミ界の不義も突きつつ 公彦
362、支持層の半分近くが不満なら公明党は二つに割れよ 公彦

7・9

- 363、「財界の良識派の覚醒を」元産経新聞経済部長 公彦
364、白蓮の子の骨壺が鳴るといふ歌の時代は我らが阻む 公彦
365、まっとうなメディアと言えぬ産経と読売世論調査も意図にて作る 公彦
366、ドイツのような歴史的反省を出来ぬ国「集団自衛」を平気で進める 公彦

7・10

- 367、ドラエモン軍隊なくして平和説くどうにかしてよドラエモン 公彦
368、地方の時代再びくるか地方紙の憲法三原則揺るがぬ堅持 さっちゃん
369、マスコミの腰が引けてるといわれしが腰抜けでなく少しほっとする(もう引かないで下さい) さっちゃん
370、アマゾンの森林伐採あい変わらず速度をはやめ地球の肺は さっちゃん
371、金と権力どこまで行くか多数の行動今試される時 さっちゃん
372、印度の智慧ソイル・ソウル・ソサエティー人にとって大切なもの平和への道かも さっちゃん
373、10代の素直な勇気に励まされる(官邸前行動) さっちゃん
374、新基地の埋め立てのみに2300億円(辺野古) さっちゃん
375、三十年防衛白書にある表現七夕の夜ついに消えたり 公彦

7・11

- 376、高らかに歌おうヒロシマでナガサキで集団的自衛権反対と平和宣言に 公彦
377、焚身とう抗議のありし日曜のルミネに想う杳(とお)き西藏(チベット) 木村美映

- 378、戦争をし続けた明治憲法へ戻そうとする商工大臣の孫 公彦
- 379、肩の弾丸疼き始めた理由とは集団的自衛権閣議決定 公彦
- 380、1500回以上の国会審議のつみあげの憲法解釈無くせるものか 公彦
- 381、侵略戦争は自衛の為にされてきたそのアメリカの戦争も自衛となるのか？公彦
- 382、家族会議で自衛隊員をやめしという徴兵制はその先に待つ
- 383、新基地の土砂はどこから持って来る環境破壊の連鎖は続く（瀬戸内海の島が削られたりしているそうです） さっちゃん
- 384、川内原発廃炉費用4500億と試算される事故起こりせばそれ未知数となる（福島事故にすでに11兆円使っているそうです・川内原発再稼働費用には3200億円かかるそうですー広瀬隆さんの文章より） さっちゃん

7・12

- 385、戦争の匂いを鋭く指弾する日蓮宗も世界教会協議会も 公彦
- 386、集団的自衛権の解釈変更を喜ぶ人中国脅威で思考は停止 公彦
- 387、振りまくは中国脅威論二十二万の自衛隊員を危険に晒して 公彦
- 389、戦争反対の署名をお願い致します新宿西口雨降り続く 公彦
- 390、戦犯が総理大臣となる国よその子は外相にそのその孫も総理に 公彦
- 391、岸信介のDNAを継ぐ孫は再び戦犯になろうとするか 公彦
- 392、岸信介が戦前的大臣だったと教えて呉れし中一の恩師 公彦
- 393、思い起こせば野田先生の教えなり許すな戦犯きけわだつみの声 公彦
- 394、一夏を先生の御宅に通いしが我が身体の芯となりたり 公彦
- 395、そういえば全ての原点はここにあり再び読もうきけわだつみの声 公彦
- 396、イラクでもイスラエルでも人が死ぬそういう国に何故しようとする 公彦

7・13

- 397、軍事企業の利益の為の不条理に七夕は過ぎ梅雨も過ぎ行く 公彦
- 398、いち早く本人訴訟を起こしたる珍道さんに拍手を送る 公彦
- 399、つぶやきは否定が肯定の二倍とかつぶやき倒せ完膚無きまで 公彦
- 400、安倍首相て面談の後空爆すイスラエルの「自衛」空爆 公彦
- 401、「戦争」がいつも若者を奮い立てる今も昔もこれからもきっと 公彦
- 402、まっすぐに首相官邸を見つめている若者が未来であり未来が若者である 公彦
- 403、憲法がひっくり変わるとどうなるの今もう始まるらし（といのち）の危機（主語を変えるって？）オカメ
- 404、投票の時期まで待つな今すぐに貴方に出来ることがある オカメ

- 405、「兵隊の死ぬやあわれひょんと死ぬ」戦没詩人の直感の叫び オカメ
- 406、責任者も自覚せぬまま戦局の坂転がるごとく悪化の一途 オカメ
- 407、書類の山燃やす黒煙そら焦がす帝都の終戦何の自覚や（証拠隠滅）オカメ
- 408、指導者を不戦で縛る憲法の深き智慧を手離すなかれ オカメ
- 409、疑って攻撃せよと命ずるは地獄の道へ民を行かしむ @gomatama1
- 410、「出動拒否は死刑か三百年の無期懲役」そんな軍隊に君は行くのか 公彦
- 411、特攻隊に志願せよと言うごとき隊員募集の封書は届く 公彦
- 412、来年は一年生となる君よ健やかであれ平和の時代に 公彦
- 413、孫二人我が亡き後に生きるべし他人に命を取られるなかれ 公彦
- 414、孫や子と天城旅行をせし翌週戦争を選ぶ閣議がありぬ 公彦
- 415、骨箱に泣し母らの嘆き忘れそを繰り返す時代を待つのか 公彦
- 416、我が家には猫と犬と妻が待つ「せんそう」の待つ隙間はあらず 公彦
- 417、「殺すことも殺されることも覚悟せよ」兵には行かぬ幹事長殿
- 418、沈黙は罪だと思ふ戦争を阻止することが出来るこの夏に 公彦

7・14

- 419、集団的自衛権許さぬ作品作るべし 15 の法律阻止せんが為 公彦
- 420、閣議決定許さぬ作品寄せられて四百を越え五百に迫る 公彦
- 421、国民が知らずにいるうち着々と合同実戦訓練遠い空の下（航空自衛隊アラスカでの訓練）オカメ
- 421、どこまでもはぐらかし続ける国会答弁（集中審議）オカメ
- 422、勝ち馬に乗ってババ引く国民性（もうやめないとホントに危ない）オカメ
- 423、戦闘機持ったからには使いたい（ウズウズする？）オカメ
- 424、PKO 武器をもって戦闘瞬間停止地域への派遣続く（南スーダン）オカメ
- 425、アデン湾に今もいるという自衛隊その運命の分かれ道集団的自衛権 オカメ
- 426、70年の戦死者ゼロの最大理由は日米同盟にあらず憲法九条にあった（と大多数の国民は考える）オカメ
- 427、ああいえばこういう人ここにもあり昔（むかし）集団的犯罪の弁護士現在（いま）集団的自衛権の某大臣（国会集中審議）カメオ
- 428、人間は捕獲から標的へと変わったと自衛隊を辞めし若者 公彦
- 429、九条にノーベル賞をの署名急増閣議に意見出せぬ人らの 公彦
- 430、恫喝し国谷キャスター泣かせたと一国の総理の了見の幅よ 公彦
- 431、アッカンアペー！発言するジュリーの真骨頂タイガースの復活コンサートも見し 公彦
- 432、北の海にらむレーダー若狭湾危険呼び込むことなかれと願う（原発銀座のそばに米軍

の X バンドレーダー設置とは) オカメ

433、この国は新たな戦争を準備している」だいぶ前に聞いたこと現在 (いま) 現実にならんとするか (斎藤貴男さんの本に書かれていた) オカメ

戦死者ゼロから始める解釈改憲 (「血を流せ」の要求に応える) あさお

434、「国民の命をまもる」と繰り返す言葉の虚しさ首相答弁 (集中審議) あさお

435、集团的自衛権首相の説明いくら聞いても納得できず今日の国会 あさお

436、現憲法で対応可能か荒唐無稽けむに巻いて逃げきれものかは (国民への説明) あさお

437、環境を変えて理由に長年の約束反古にし更に危険を (トップのすることでしょうか) あさお

438、くらべよう新憲法草案と現憲法の意味するものを将来の国民投票に備えて (「新」はひどすぎ、それよりまだと跳びつかないように) あさお

439、ホルムズ海峡の機雷撤去に行く為に宣戦布告をするというのか 公彦

440、戦争を待望する財界の要望に沿い道は作らる 公彦

441、自民党公明党の見解の差はいかんせん機雷掃海出来るのか出来ないのか 公彦

442、「レッド・フラッグ・アラスカ」は攻め込む為の演習なり「不必要な被撃墜」も受け 公彦

443、戦争の扉は開いてしまったが私たちの手で閉じられる扉 公彦

444、ガイドラインでもそれぞれが救出となっている他国が救助はありえない劇 公彦

445、百田こそ最前線に行くべきだ経営委員は今すぐ辞めろ 公彦

446、立憲主義民主主義に平和主義膝叩き居りある記者会見に 公彦

447、戦没者 300 万から始まった日本国憲法 (忘れないで) あさお

448、自衛隊救援隊に変わってほしい迷彩服を脱ぎ捨てて矛盾もいっしょに解消できる (憲法に戻る道でもある) あさお

449、仙台消防局 0. 35 人で一人を救出災害救助一筋でこの成果をみよ (東日本大震災) あさお

7・16

450、関わぬ事を教えし先生の事思い出す戦争論議に 公彦

451、シームレスぐるぐる巡る平時と有事 (こういう社会にしようとするのか) あさお

452、オスプレー機で水牛 17 万頭 (買えると言う) 水田耕す平和な島々 (レイテ島の望み) あさお

453、ABE さんはヤンキー的なセレブかな (どうりで国内でかなり通用している) あさお

454、「戦後 40 年戦争を知る世代が第一線を去り」(以前新聞でみた言葉) いまや戦後 70 年あまり子の世代も社会の第一線を退きつつある あさお

7・17

- 455、亡国の政治ときっぱり決別し新しい政治を打ち立てる時 公彦
- 456、耐えられない存在の軽さは唾棄すべし安倍と麻生の悪ガキ二人 公彦
- 457、「自衛権」などと言わずに「戦争権」と正直に言えそれが日本語 桜田和子
- 458、国民の声を無視して戦争法通すも10余の法の壁がまだある 和子
- 459、歴代の政府の見解投げ捨てて憲法変える今の政府は 和子
- 460、戦争法決めた日から早速に自衛官募集の垂れ幕下がる 和子
- 461、武器なれど防衛装備品と名を変えて世界へ売り出す死の商人は 和子
- 462、武器見本市今や日本も堂々とコーナーを持つ看板あらわ 和子
- 463、議員となり自衛官は主張する、昔も軍服の大臣がいた 和子
- 464、圧勝と予想されてた候補なり自公がこぞって推してたはずが 和子
- 465、川内原発適合性パスのニュースに怒り新たに湧き上がる ASATO
- 466、意見募集するならそれを反映させる今度こそその当たり前を実行せよ ASATO
- 467、取り戻すといいながら失うリスクを高めるばかり（アベコベ） ASATO
- 468、無責任体質このまま進めば破滅のおそれ ASATO
- 469、成長戦略すべての不安を蹴散らかし（恐るべき楽天主義） ASATO
- 470、小泉劇場みとれるうちになんでもありの世の中に 憲ちゃん
- 471、政治に経済福祉に教育なんでもかんでも下り坂 憲ちゃん
- 472、第二部の ABE 劇場はさらに過激あつけにとられて呆然自失 憲ちゃん
- 473、地震・雷・火事・親父、大雨・日照りに大噴火、天災・人災なんでもあり 憲ちゃん
- 474、秘密保護法・九条変更・教育改憲ありそうな最後に待つは憲法改悪 憲ちゃん
- 475、「大きな嘘ほど騙される」必要ないもの買わされる害がなければまだマシけど使ううちに命取り 憲ちゃん
- 476、みんなで騙されれば怖くない？すべての人に責任なし？ 憲ちゃん
- 477、戦争・原発・・・行き着く先は、恐怖と悲しみ汚染の大地（海、大気） 憲ちゃん
- 478、こんなことにならないように目をしっかりと見開いて自分の頭で考えよう（観客はもうやめよう） 憲ちゃん

7・18

- 485、経済徴兵制 知らない言葉に出会いたり「自衛権」はここに行き着く 公彦
- 486、「安倍政権はうち倒されるためにある」辺見庸氏とたたかい怒る 公彦
- 487、せんそうはすべての愛をこわしてゆく敵は戦争を始めさせる人 公彦
- 488、「死ね！殺せ！」というような言動はネット上だけでいい為政者は言うな 公彦

- 489、NHKと国谷キャスターにまで謝らせ安倍はどこまで傲慢なのか 公彦
490、国連の「子どもの権利条約」日本批准（20年前1994年）さっちゃん
491、戦争に巻き込まれない権利があるはず基本的人権ですべてのひとにもあるかしら さっちゃん
492、国政に民意は反映されるのか死票（しにひょう）半分小選挙区制 あさお
493、オセロゲームに巻かれるうちに誰かの好む独裁制に あさお
494、戦争に賛成する党は何であれ国民の支持は得られぬと知れ 公彦

7・20

- 495、身一つで民家の屋上に集まりし人々狙っての空爆相手に訴えようとせしに（ガザ：武力攻撃停止を願って訴えるため家に戻っていたそうですが） あさお
496、結婚の祝いの宴に集まりし人々の上に爆撃何の集まりとおもいしか（イラク戦争） あさお
497、民間航空機ウクライナ上空で撃墜される平穏な日常と戦争の瞬間の接触 あさお
498、警告にも気づかず大韓航空機攻撃される日常と軍事の不幸な出会い（東西冷戦時代：航路をはずれていた大韓航空機撃墜される） あさお
499、日本の集团的武力行使への参入は世界から平和を遠ざける あさお
500、憲法9条を世界に広める努力が日本の道 あさお
501、五百もの集团的自衛権阻止の作品よ梅雨明けの空に百日紅咲く 公彦
502、憲法の 非戦の誓い 守ってこそ 死者のみ霊は とわに安からめ 大塚要治
503、個別でも出来る話を集団で 公彦
504、ファストフード店とつながっているガザ空爆どこでどうなっているのか知らずにはいられまい あさお
505、社会的不平等急上昇自然現象ならず税制がからむらし（21世紀の資本：トマ・ピケティさん（フランス）の研究） あさお
-

あとがきにかえて

この歌の中で若干補足をしたい私の歌群がある。それはこれです。

岸信介が戦前の大臣だったと教えて呉れし中一の恩師
思い起こせば野田先生の教えなり許すな戦犯きけわだつみの声
一夏を先生の御宅に通いしが我が身体の芯となりたり
そういえば全ての原点はここにあり再び読もうきけわだつみの声

中一の時に道德の教材を作るので「お前は声がいい」から来いと野田先生という地学の先生に言われ夏休みに大分の山の上の野田先生の家に通って「きけ わだつみのこえ」を何人かで朗読した。

録音が終わると毎回お菓子を頂きながらいろんな話をした。

これは誰だと集合写真の中の一人を指すので佐藤栄作と言ったら岸信介だという。

当時は知らない名前だった。

この夏休みは私の人格形成に大きな影響を与えた。

私が朗読したのはこの詩である。

「はげしい夜の春雷である」始め特定のフレーズが頭に残っている

● 夜の春雷 田辺利宏

はげしい夜の春雷である
鉄板を打つ青白い電光の中に
俺はひとりの石像のように立っている

永い戦いを終えて
いま俺達は三月の長江を下っている
しかし、荒涼たる冬の予南平野に
十名にあまる戦友を埋めてしまったのだ
彼らはみなよく戦い抜き
天皇陛下万歳を叫んで息絶えた
つめたい黄塵の吹きすさぶ中に
彼らを運ぶ俺たちも疲れはてていた
新しく掘りかえされた土の上に
俺たちの捧げる最後の敬礼は悲しかった

ともに凍りついた飯を喰い
氷片の流れる川を渡り
吹雪の山脈を越えて敵と戦い
今日まで前進しつづけた友を
いま敵中の土の中に埋めてしまったのだ

はげしい夜の春雷である
ごうごうたる雷鳴の中から
いま俺は彼らの声を聞いている
荒天の日々
俺はよくあの掘り返された土のことを考えた
敵中に残してきた彼らのことを思いだした
空間に
人の言葉とは思えない
流血にこもった喘ぐ言葉を
俺はもう幾度聞いたことだろう

悲しい護国の鬼たちよ
すさまじい夜の春雷の中に
君たちはまた銃剣をとり
遠ざかる俺たちを呼んでいるのだろうか
ある者は脳髄を撃ち抜かれ
ある者は胸部を撃ち抜かれて
よろめき叫ぶ君たちの声は
どろどろと俺の胸を打ち
びたびたと冷たいものを額に通わせる
黒い夜の貨物船の上に
かなしい歴史は空から降る

明かるい三月のあけぼののまだ来ぬ中に
夜の春雷よ、遠くへかえれ
友を拉して遠くへかえれ

以下達王の国語教室より

<http://blog.livedoor.jp/tatsuoh2006/tag/きけわだつみのこえ>

日大を卒業した田辺利宏は、軍隊に入る前の三ヶ月を、故郷に近い福山市の女学校で教師をして過ごした。入隊の日が迫ったある日、教え子たちと連れだって山登りに出かける。のどかな瀬戸内の海を前に、笑いさざめく教え子に囲まれながら、自分の青春の終わりを予感する。

昭和 16 年 8 月 24 日、江蘇省泗陽県での戦闘中、敵弾が彼の右胸部を貫通した。

夜、風呂の行きがけに、小さい螢をとらえる。
それは、かすかな淡い、
夏の栄華の果てのような灯であった。

と記して、彼の戦線日記は終わっている。享年二十六歳。再び教壇に立つことはなかった。

--
文集『きけ わだつみのこえ』は、時の政府に殺された若い戦没者たちが残した生きた証である。

今 時の政府ははっきりと同じ道を歩んでいる。
嘗て私たちは親になぜ戦争に反対しなかったのかと言えた。
今私たちは将来の子孫に問われて答えなければならないことに際会している。

悲しい護国の鬼たちよ
すさまじい夜の春雷の中に
君たちはまた銃剣をとり
遠ざかる俺たちを呼んでいるのだろうか

この言葉が私の中を半世紀近く経って回り始めている。

田辺利宏さんの詩が書かれて今年で 73 年経つ。
野田先生のお宅に通ってこの詩を朗読してから今年で 47 年も経つ。
古い話であるが古いことを思い出させた戦争論議である。

以下の短歌でこの本を終えます。お読みいただき有難うございました。

2014 年 8 月 1 日 (集団的自衛権容認閣議決定から一ヶ月の日に)

関わぬ事を教えし先生の事思い出す戦争論議に 公彦